

2019年度国際学術セミナー

「グローバル社会の葛藤と公共性の人文学」と日本研究
Humanity Solutions to Address the Conflicts and Public Good of
Global Society: **Japanese studies**

Proceedings

日付：2019年10月19～20日

場所：広島大学 社会科学部研究科講義棟 B157
(Hiroshima University Social Sciences Campus B157)

主催：漢陽大学 BK21Plus 日本研究特性化チーム
広島大学比較日本文化学プロジェクト研究センター

2019年度国際学術セミナー

「グローバル社会の葛藤と公共性の人文学」と日本研究
Humanity Solutions to Address the Conflicts and Public Good of
Global Society: **Japanese studies**

プログラム

日付：2019年10月19～20日

場所：広島大学 社会科学研究科講義棟 B157

(Hiroshima University Social Sciences Campus B157)

2019年度国際学術セミナー

「グローバル社会の葛藤と公共性の人文学」と日本研究

プログラム

10月19日

開会式 09:30～09:40

歓迎の挨拶 広島大学文学研究科 奈良勝司准教授
開会の挨拶 漢陽大学BK21Plus チーム長 鄭夏美 (Ha-mie Chung 教授)

第1セッション

司会：佐藤太久磨（漢陽大学教授）

	時間	発表者		発表題目
1	09:40～ 10:05	赤司友徳	九州大学	戦後学生社会運動と福祉国家の形成—九州大学セツルメントの実践から—
2	10:05～ 10:30	朴姫慶 (Hui-Kyoung, Park)	漢陽大学	華族になった人々—朝鮮の貴族について—
3	10:30～ 10:55	Hanno Jentzsch	Deutsche-Japanisch Gesellschaft	A Local Perspective on Japan's Changing Agricultural Support and Protection Regime
4	10:55～ 11:20	李昇熹 (Seung-hee, Lee)	漢陽大学	レアアース紛争と日中関係
5	11:20～ 11:45	Andrej Bekeš	リュブリャナ 大学	一小国から見た日本研究の可能性と課題

* * * * * ランチ 11:45～13:00 * * * * *

第2セッション

司会：李康民(Kang-min Yi 漢陽大学教授)

	時間	発表者		発表題目
6	13:00～ 13:25	趙曉燕 (Zhao, Xiaoyan)	四川外国語大学	『源氏物語』における人生儀礼の機能—明石姫君を事例として—
7	13:25～ 13:50	蘇庶炫 (Seo-hyeon, So)	漢陽大学	1950年以降日韓漢字語の使用状況に関する考察—朝日新聞と東亜日報のデータベース構築について—
8	13:50～ 14:15	朴胤宣 (Park-yoon, seon)	広島大学	韓国人上級日本語学習者の文理解における漢字単語の処理過程について
9	14:15～ 14:40	李京姫 (Kyung-hee, Lee)	漢陽大学	日本語のハングル表記法の使用実態と問題点—韓国の国立国語院の表記法を基にして
10	14:40～ 15:05	柳本大地	広島大学	韓国語を母語とする上級の日本語学習者は日本語漢字単語をどのように意味処理しているのか

* * * * * コーヒーブレイク 15:05～15:30 * * * * *

第3セッション

司会：張慧珍 (Hye-jin Jhang 漢陽大学講師)

	時間	発表者		発表題目
11	15:30～ 15:55	寺沢優	立命館大学	村嶋帰之『歓楽の墓』にみる青年娼婦論者の思想と形成—憧憬、矛盾と葛藤、決別へ—
12	15:55～ 16:20	李俊榮 (Jun-young, Lee)	漢陽大学	樺太における朝鮮人人口の統制と酌婦制限
13	16:20～ 16:45	真杉侑里	立命館大学	公娼制度研究の現在と展望—娼婦運動と前借金問題—
14	16:45～ 17:10	伊東かおり	広島大学	議員外交と日本—列国議会同盟 (Inter-parliamentary Union) と日本の関係史の検討から

懇親会 17:30～19:30 於：未定

10月20日

共同学会議 10:00～12:30

司会：鄭夏美 (Ha-mie CHUNG 漢陽大学教授)

総合討論

「グローバル社会の葛藤と公共性の人文学」と日本研究

閉会式 12:30～13:00

閉会の挨拶 漢陽大学教授 鄭夏美 (Ha-mie CHUNG)

第1セッション

司会：佐藤太久磨（漢陽大学教授）

	時間	発表者		発表題目
1	09:40～ 10:05	赤司友徳	九州大学	戦後学生社会運動と福祉国家の形成—九州大学セツルメントの実践から—
2	10:05～ 10:30	朴姫慶 (Hui-Kyoung, Park)	漢陽大学	華族になった人々—朝鮮の貴族について—
3	10:30～ 10:55	Hanno Jentzsch	Deutsche- Japanisch Gesellschaft	A Local Perspective on Japan's Changing Agricultural Support and Protection Regime
4	10:55～ 11:20	李昇熹 (Seung-hee, Lee)	漢陽大学	レアアース紛争と日中関係
5	11:20～ 11:45	Andrej Bekeš	リュブリャナ 大学	—小国から見た日本研究の可能性と課題

第2セッション

司会：李康民(Kang-min Yi 漢陽大学教授)

	時間	発表者		発表題目
6	13:00～ 13:25	趙曉燕 (Zhao, Xiaoyan)	四川外国 語大学	『源氏物語』における人生儀礼の機能—明石 姫君を事例として—
7	13:25～ 13:50	蘇庶炫 (Seo-hyeon, So)	漢陽大学	1950年以降日韓漢字語の使用状況に関する 考察—朝日新聞と東亜日報のデータベース構 築について—
8	13:50～ 14:15	朴胤宣 (Park-yoon, seon)	広島大学	韓国人上級日本語学習者の文理解における漢 字単語の処理過程について
9	14:15～ 14:40	李京姫 (Kyung-hee, Lee)	漢陽大学	日本語のハングル表記法の使用実態と問題点 —韓国の国立国語院の表記法を基にして
10	14:40～ 15:05	柳本大地	広島大学	韓国語を母語とする上級の日本語学習者は日 本語漢字単語をどのように意味処理しているのか

第3セッション

司会：張慧珍 (Hye-jin Jhang 漢陽大学講師)

	時間	発表者		発表題目
11	15:30～ 15:55	寺沢優	立命館大学	村嶋帰之『歓楽の墓』にみる青年廃娼論者の思想と形成—憧憬、矛盾と葛藤、決別へ—
12	15:55～ 16:20	李俊榮 (Jun-young, Lee)	漢陽大学	樺太における朝鮮人人口の統制と酌婦制限
13	16:20～ 16:45	真杉侑里	立命館大学	公娼制度研究の現在と展望—廃娼運動と前借金問題—
14	16:45～ 17:10	伊東かおり	広島大学	議員外交と日本—列国議会同盟 (Inter-parliamentary Union) と日本の関係史の検討から

2019年度国際学術セミナー

「グローバル社会の葛藤と公共性の人文学」と日本研究 Proceedings

漢陽大学BK21Plus日本研究特性化チーム 編集

2019年 10月 11日 印刷

2019年 10月 15日 発行

発行： 漢陽大学BK21Plus日本研究特性化チーム
京畿道安山市常緑区
漢陽大学校国際文化部日本語・文化学科
TEL:031)400-5330

印刷：태일사

【協力大学 及び 協力機関】



Hiroshima University



Hanyang University



Sichuan International Studies University



Deutsche-Japanisch Gesellschaft